

# 令和6年度に向けた 重点的検討課題（案）

クリエイティブ人材の育成・集積・活用

---

令和5年6月16日  
新産業戦略PT事務局

# 1. 重点的検討課題（案）

---

【重点的検討課題】

## クリエイティブ人材の育成・集積・活用

【趣旨】

社会経済変化が激しく、国際標準化が進展する潮流の中で、ウェルビーイング社会の実現に向けて「クリエイティブな発想で富山県産業に新しい価値を生み出す人材」をどう増やして（育成・集積・活用して）いくかについて検討。

【人材（例）】

- ①国際標準化時代に対応し、既存の県内企業や伝統産業の価値を高める人材
- ②社会課題解決を行うスタートアップやスモールビジネスを起業する人材

## 2. 検討にあたって

---

- ・ クリエイティブな人材が県内で活躍することにより、企業の付加価値が向上、経済成長が図られ、企業の経営者や従業員のウェルビーイングが向上していること。



- ・ 企業の魅力が向上することにより、域内外の投資や人材を呼び込み、それが更なる成長につながる好循環が達成され、県民のウェルビーイングが向上し、ワクワクを感じられること。

### 3. 検討の方向性（案）

クリエイティブ人材の育成・集積・活用を進めるために、特に以下の4点について検討を深める。

#### (1) 富山県にクリエイターを集める・育てるには、 どうすればよいか

県外デザイナーが富山県に来たくなる仕掛けや、継続的な連携づくりなど、①県外から富山県にクリエイターを集積させ、また、②県内のクリエイターを育成していくために必要な取組みについて議論。

#### (2) 富山県にデザイン経営やデザイン思考を普及 するには、どうすればよいか

①川上産業、BtoBの中小製造業が中心の本県において、企業にデザイン経営やデザイン思考を普及・浸透させるために必要な取組みや、②将来を担う子どもたちにデザイン思考を普及させるために必要な取組みについて議論。

### (3) 富山県の企業のマインドを、より「攻めの姿勢」 に変革するには、どうすればよいか

「いいものをより安く」から、不確実性の高い時代の中で、新たな市場を開拓する新製品の開発や自社製品の高付加価値化を促進するために必要なデザイン思考の取組みなどについて議論。

### (4) 「デザイン思考 × 本県企業の強味」により新産業 (新ビジネス・新製品)を創出するには、どうすればよいか

県内での新たな価値を生む産業創出に向け、県内企業の優れた技術（コアコンピタンス）とデザイン思考やデザイナーとの連携、異業種間の連携により、THINK（思考のジャンプ）を誘発するために必要な取組みについて議論。